

平成30年度 学力向上プラン

深谷市立岡部西小学校

R
分析

全国学力・学習状況調査より

- ・国語では、文の中における主語と述語の関係に注意して、正しく書き直す設問に課題がある。また、「話すこと・聞くこと」の領域において課題がある。
- ・算数では、基本的な計算の正答率が高いが、計算の意味についての理解には課題がある。また、複数の情報とグラフを関連付けて求め、記述する設問の回答率が低かった。

埼玉県学力・学習状況調査より

- ・小学4年生：国語では、物語の読み取りに課題がある。また、国語辞典の正しい使い方にも課題がある。算数では、どの領域においても文章題を解く設問に課題がある。また、図形についての理解にも課題がある。
- ・小学5年生：国語では、特に言語についての知識や理解に課題がある。また、物語の読み取りについても課題がある。算数では、全体的にどの領域でも課題があるが、特に図形についての知識、理解、技能に課題がある。

NRTより

- ・上位層が少なく、中位層が多い。また下位層も少なくない。

G
ゴール

【平成34年度までの目標】

- ・全国学力・学習状況調査の平均正答率においてすべて全国・県平均を上回る。
- ・県学力・学習状況調査の平均正答率において、すべて県平均を上回る。

【来年度に向けての数値目標】

- ・県学力・学習状況調査の平均正答率において、4学年（新5学年）では、国語と算数を合わせて、上位層を19%増やし、下位層を0%にする。
5学年（新6年生）では国語と算数を合わせて、上位層を22%増やし、下位層を13%減らす。

	国語		算数	
4 学年	上	17 % ⇒ 25 %	上	19 % ⇒ 30 %
	下	4 % ⇒ 0 %	下	2 % ⇒ 0 %
5 学年	上	13 % ⇒ 25 %	上	20 % ⇒ 30 %
	下	7 % ⇒ 0 %	下	11 % ⇒ 5 %

※上位層＝正答率 75%、中位層＝正答率 75%未満 25%以上、下位層＝正答率 25%未満

【次年度に向けての重点計画】

- ・本校のそれぞれの教科における課題を全教員が把握し、課題を意識した授業作りに取り組む。また、授業作りの研修を行う。
- ・朝学習や週末課題は学力調査を踏まえたより充実したものにする。
- ・家庭と連携して、読書活動に取り組む。

8月

校内研修（本校の課題の共通理解・全教員で調査問題を解き、課題のあった問題を分析）

9月

学力向上だよりの配布

10月

読書強化月間
（学校：読書キャンペーン）
（家庭：親子読書の実施）

11月

12月

学力向上だよりの配布

1月

2月

学力向上月間
校内相互授業参観、学力向上研修
週末課題の取組

3月

学力向上だよりの配布

本校の課題を意識した授業の展開（全学年・学級）

朝学習の実施 本校の課題を踏まえた問題、コバトン問題集等の活用

活用問題を週末課題として実施、解説の反復（小学五年生）

家庭・地域との連携（家庭学習のめやすの周知・地域学習支援者の活用）